

ここでは役場で行っている環境マネジメントシステムの内容や取り組みについて紹介します。

今回は、平成25年12月27日に行われた平成25年度判定委員会において、「環境自治体スタンダード(LAS-E)第2ステージ・第1ステップ」の合格判定をいただきましたので報告します。

2013年12月27日

士幌町長 小林康雄 殿

LAS-E判定委員会

LAS-E判定結果について

- 1. 申請自治体 北海道士幌町
- 2. 申請類型区分 第2ステージ・第1ステップ
- 3. 合否判定結果 LAS-E判定委員会において、上記類型区分において規格に準拠しているかどうかを討議した結果、貴自治体の取り組みを次のように判定しました。

合格

以下所見

<全般的な事項>

士幌町の環境マネジメントシステムは、LAS-E第2ステージ・第1ステップの規格に準拠して運用されており、監査チームも適正な監査を行っていることから、合格と判定しました。職員の間にもまだ第2ステージに取り組んでいる意識は十分根付いていないようですが、従来エコオプシ的な取り組みから地域全体の取り組みへと一歩前に踏み出したことは評価できます。ただ、地域へ広げていく取り組みもまだまだ見られませんので、今後町民や事業者への働きかけを強化していくことを期待します。

<個別的な事項>

学校において優れた取り組みがいくつか見られたのは評価できます。これらは教育委員会事務局等がとりまとめた上で、ESD（持続可能な開発教育）を意識して横展開を図るようにしてください。

一方、設備運転や危険物の管理などの記録が確認できないケースが多く見られました。事務局と各施設との連絡体制を確立してください。顕在化しているものだけではなく、常日頃から環境側面の洗い出しをしっかりと行うことが、故障や事故の時の適切な対応にもつながります。

さらに、目標設定について古いと思われるものが散見されます。例えば廃棄物の平成17年度の目標など、時代の流れを意識し、ベンチマークとして意欲的な目標を設定することが必要と考えます。

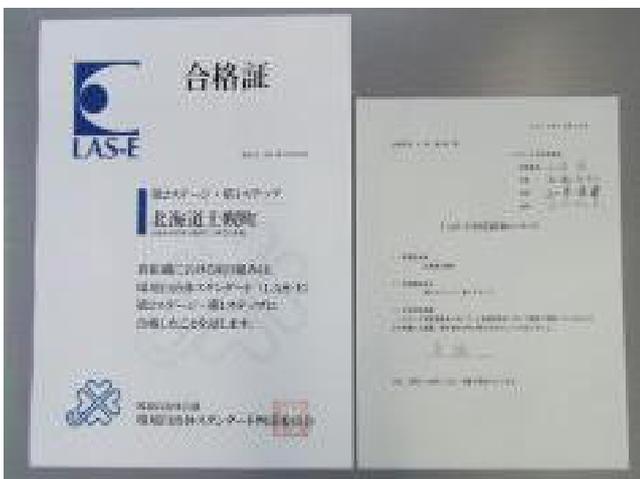
<監査について>

共通実施項目監査が適正に実施されていることは評価できます。しかし、第2ステージにあたり地域全体環境改善への効果を検査するような監査が、まだ十分に展開されていません。また、第2ステージの内容を再確認し、町政策や日本や世界の環境政策に準拠した取り組みの底上げにつながるような指摘ができるスキルを習得することを期待します。

判定結果・所見より抜粋

←合格証・LAS-E判定結果通知

第2ステージの取り組みは、地域全体の環境政策の実施やあらゆる事業活動における環境配慮となっています。役場庁舎などの公共施設を利用される町民の皆様にも一層のご理解とご協力をお願いいたします。



環境自治体スタンダード
第2ステージ第1ステップ合格